

## 生物多様性

### 基本姿勢

生物多様性の保全に対する取り組みは、地球温暖化とともに持続可能な社会を実現していくための重要な環境課題であると考えています。

当社では、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)の理念を受け、生物多様性の保全に向けた取り組みとして、官民協

働で生態系ネットワーク形成を推進し、次世代の担い手の育成を図る活動に参画しています。

これまで取り組んできた森林育成活動や社員によるボランティア活動の推進に加えて、生態系を保全するプロジェクトの取り組みを進めていきます。

### カブトムシのすむ森づくり

生物多様性維持に向けた活動の一環として、落葉広葉樹の森を形成し、カブトムシをはじめとする生き物が自然のサイクルの中で暮らしてつづけていける環境を創出することを目標に、2012年度より『カブトムシのすむ森づくり』活動を実施しています。2013年度には従業員家族および関係者により約1,200本の植樹を行い、その後も知多半島生態系ネットワーク推進協議会・NPOの学生実行委員会のメンバーと協業にて育成活動を行っております。2015年度は、昨年までに植樹した箇所の除草や灌水を行ったり、「森2イベント」と題して、ドングリ拾いからの苗作り・植樹などを行う、社員・家族参加型のイベントを開催しました。



### 森林育成ボランティア

当社は、鋼(ハガネ)を生産する際に大量の水を使用することから、愛知用水の源流となる長野県の森林育成に取り組むNPO法人「緑の挑戦者」の活動に共感し、2006年より毎年2回/年、社員ボランティアを募り現地で森林育成のための除伐、間伐作業に汗を流しつつ、現地の方々との交流も深めています。

#### 長野県 木祖村



#### 長野県 王滝村

